

朱太川アユ種苗放流の休止へのご理解のお願い

【これまでの経緯】

黒松内町は生物多様性基本法に基づき、平成24年3月に「黒松内町生物多様性地域戦略」を策定しました。平成23年度には地域戦略策定作業に伴う河川環境指標生物調査として、平成24・25年度には本地域戦略行動計画に基づく黒松内町生物多様性保全・活用事業^{※1}の一環として、朱太川水系アユ生息状況調査を実施しており、今年度も漁場・産卵場のモニタリング調査を実施する予定です。

これまでの調査によると、朱太川のアユ資源量減少要因として本州産アユ種苗放流によって種苗アユと天然アユの交雑による遺伝子攪乱（異系交配弱勢^{※2}）や、冷水病が持ち込まれる可能性が危惧されています。町の調査結果報告を受け、朱太川漁業協同組合が充分検討を行った結果、平成24年度定期総会において平成25年度以降の種苗放流を休止する事が決定されました。

平成28年度定期総会においても放流休止継続が承認されたため、今年度も放流を休止して7月1日のアユ遊魚解禁日を迎えます。

なお、朱太川漁業協同組合による増殖事業として人工孵化放流事業は従前通り継続します。また、平成26年度からは増殖事業の一環として、漁協と町が協働して漁場改善事業（巨石載り石化）と産卵場造成（河床耕耘）に取り組んできました。今年度も6月に巨石掘りおこしを予定しましたが、実施予定地周辺でドクガが大発生したため作業に支障が生じ、現在のところ実施延期しております。

H23	H24	H25	H26	H27	H27
・中新田産種苗放流 人工孵化放流	・中新田産種苗放流 ・人工孵化放流 ・H24 総会で H25 年度 以降の放流休止を決定	・種苗放流休止 ・人工孵化放流	・種苗放流休止 ・人工孵化放流	・種苗放流休止 ・人工孵化放流	・種苗放流休止 ・人工孵化放流
・生息状況調査	・生息状況調査	・生息状況調査	・生息状況調査 ・漁場改善 ・産卵場造成	・生息状況調査 ・漁場改善 ・産卵場造成	・生息状況調査 ・漁場改善 ・産卵場造成

【今後の取組】

平成28年度アユ生息状況調査では、夏季（7月）に潜水調査によるアユ分布調査（個体数計測）、秋期（9月）に産卵環境調査、流下仔魚調査を実施致します。これらの調査により、種苗放流を行わない朱太川アユがモニタリングされます。調査結果を踏まえ、次年度以降の朱太川漁業協同組合による放流休止の取組について検討が加えられることで、アユ資源が順応的に管理される見込です。

「昔は今よりもずっと生息密度が高かった」と当時を知る方々は口をそろえます。朱太川産天然アユのかつての盛況を再生することを目的としたこの取組について、アユ釣りを愛好される皆様のご理解と暖かいご支援を頂きますようお願い申し上げます。

朱太川漁業協同組合
組 合 長 畑 井 信 男

黒松内町長 鎌 田 満

※1 本戦略を受けて平成24年度以降に町が実施する、生物多様性の保全及び持続可能な利用を目的とする事業の総称。

※2 遺伝的に遠縁の集団との交配（異系交配）によって生残率や繁殖率が弱い個体や集団を生じること。

【お問い合わせ先】 朱太川のアユ釣り（遊魚）に関して : 朱太川漁業協同組合 0136-72-3231
生息状況調査に関して : 黒松内町役場 企画環境課 0136-72-3376